



平成 23 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 O a k キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 広報・IR 室長 桐村 康司
(TEL. 03-5412-7700)

次世代デジタル郵便の事業サービス開始のお知らせ

当社の IT 事業プロジェクトであるデジタル郵便事業では、「スマートフォンから手紙が郵送できる」ハイブリット郵便の第一弾として、NTT ドコモ、ソフトバンク、au 各社のスマートフォン及びパソコンから利用できるサービスを開始いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

1. サービスの名称及び利用方法

(1) アプリケーションの名称： **Live Card** (ライブカード)

(2) アイコンの名称： **My Letter** (マイレター)

(3) 利用方法：

スマートフォン： ドコモの d メニューの「便利ツール」、iPhone のアップルストアから Live Card の無料ダウンロードが出来ます。

パソコン： Live Card のサービスページにアクセスすることにより、特別なソフトを必要とせずに、そのまま利用できます。

2. 近日中サービス開始

- ・iPhone (ソフトバンク、au)
- ・Android (NTT ドコモ)
- ・パソコン (Windows、Mac)

3. ハイブリット郵便について

本格的なハイブリット郵便のサービスが日本で開始されます

モバイル端末やパソコンから手紙が郵送できるハイブリット郵便は、ドイツ、イギリス、アメリカなど先進国で既に開始されました。このたび始まるデジタル郵便の機能では、国内はもとより海外旅行先からも e メールと同様に手軽に手紙や写真付きカードがスマートフォンや PC から発信するだけで郵送が可能となります。プリント (印刷) する手間もなくポスト投函も不用となり郵送出来るサービスです。このデジタル郵便システムにより、モバイルのコミュニケーション機能である電話と電子メールに手紙郵送機能が加わることで利用者にとって利便性がさらに広がります。今後、当サービスは法人向けビジネスレターや DM レターなど幅広い機能とサービスを提供してまいります。

IT 企業の共同事業体として運営

当事業は当社の IT 事業プロジェクトとして立案され、設計・技術・ネットワークは IT 企業の株式会社フライトシステムコンサルティング（東証 M 3753）および株式会社ソフトフロント（JQ 2321）、並びに情報産業の国内大手の株式会社日立システムズおよびオンデマンド印刷の東京リスマチック株式会社（JQ 7861）とによる共同事業体として、日本郵政グループの郵便事業株式会社並びにモバイル通信のキャリア各社、三菱 UFJ ニコス株式会社による全面的な協力関係により実現いたしました。

なお、当事業の運営は、合併で設立したデジタルポスト株式会社（以下「デジタルポスト社」）が行います。

新しいコミュニケーション・ツール「Live Card」～ eメールの手軽さで手紙が送れる ～

デジタル郵便の最初のサービスとなる「Live Card」は、スマートフォンなどモバイル端末やパソコンで作成したメッセージを手紙にして、郵便で送ることが出来るものです。種類が豊富なテンプレート集から選ぶデザインや画像、または自分で撮影した写真から簡単にフォトカードが作れます。あとはメッセージを入力するだけの簡単な操作です。送られるカードは上質のカード用紙を使用し、高品質なカラー印刷で出来上がります。配達には全国 24,000 の郵便局の信頼できる郵送ネットワークにより、迅速かつ正確に送り先へ届けられます。Live Card の機能と製品作りは「送る人の思いを伝え」、「受取る方の喜ぶ顔」を目指しています。

今後のサービスイン：ビジネスレター・DM 郵便、ギフトメッセージサービス

このたび始まりました「Live Card」に加え、今後、法人向けビジネスレター、DM 郵便サービスやメッセージ&ギフトなど、新しいサービスを順次リリースしていく予定です。

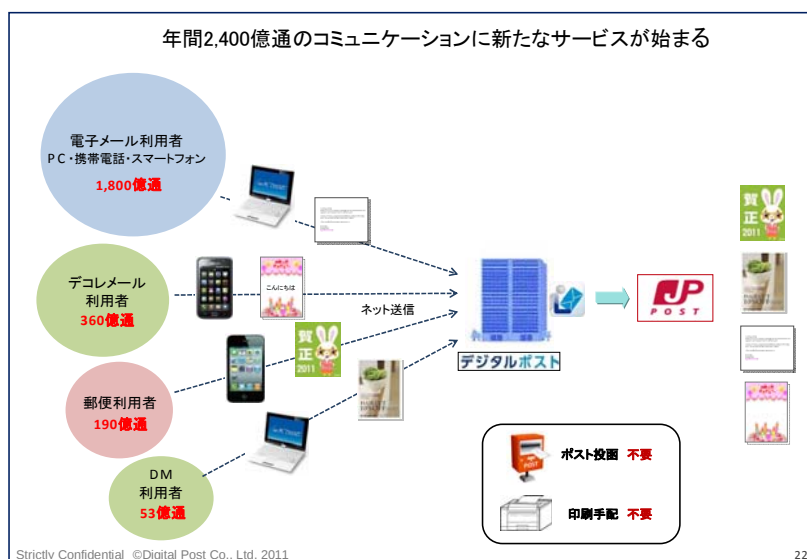
利用できる端末：

- ① スマートフォン：ドコモ、ソフトバンク、au の iPhone および Android のスマートフォン各機種
- ② Windows 対応 PC — OS：Windows 7、Windows Vista、Windows XP（各日本語版）、
ブラウザ：IE 8、Firefox 6 以上 Safari 5 以上
- ③ Mac 対応 PC — OS：Mac OS X 10.6 以降、ブラウザ：Safari 5 以上

4. デジタルポスト株式会社の会社概要

次世代デジタル郵便事業の経営母体であるデジタルポスト社は、事業戦略、企画、マーケティング、サービス・オペレーションの運営管理等、事業推進機能を担うほか、アプリケーションをはじめとするソフトウェアの管理を行います。

- (1) 商号：デジタルポスト株式会社
- (2) 株主：株式会社フライトシステムコンサルティング Oak キャピタル株式会社
株式会社日立システムズ 株式会社ソフトフロント 東京リスマチック株式会社
- (3) URL：<http://www.livecard.jp/>



5. 事業計画の概要と市場予測

モバイル端末やパソコンによるコミュニケーションツールとして、e メール（年間利用 1,800 億通）やデコレーションメール（年間利用 360 億通）の利用件数が増加しています。そして郵便は年間 190 億通の利用があります。デジタル郵便はスマートフォンやパソコンの e メール利用者やデコレーションメール利用者向け並びに郵便利用者向けに、「手紙が送れる」利便性機能を提供するものです。また、増加する DM(年間 53 億通)などの需要に対応する法人向けのサービスは、パソコンからリアルタイムで郵送できるビジネスレーターとして活用できます。

(1) 潜在利用者

2,000 人を対象に市場調査をした結果、このサービスを利用すると回答された人は約 2 人に 1 人です。

電子メール利用者 48.7%

絵葉書利用者 44.8%

デコレーションメール利用者 44.8%

また、e メール利用者の 87.9%が電子メールより手紙をもらう方が「嬉しい」と思っていますが、手紙を出さない理由として、「書くのが面倒」で手紙を出さない人が 57.2%、「字に自信がない」人が 52.4%でした。ハイブリット郵便はこれらの潜在需要層に対応したシステムです

当事業は e メール（年間利用 1,800 億通）、デコレーションメール（年間利用 360 億通）の年間利用総数 2,160 億通の 1% (21 億通) と郵便（年間 190 億通）、DM(年間 53 億通)の年間利用総数 243 億通の 5% (12 億通) を対象とすべき市場としてとらえ、電子メール等の市場規模と成長するスマートフォン市場の普及を予測して計画しており、3 年以内の実現に向け、以下の通り目標設定しております。

(2) デジタル郵便事業の目標数値

取 扱 目 標	1 億通	3 億通	10 億通～20 億通
売 上 高	115 億円	343 億円	1, 142 億円～2, 285 億円
営 業 利 益	17 億円	56 億円	184 億円～366 億円
営業利益率	14%	16%	16%
当期純利益	10 億円	32 億円	109 億円～216 億円

(3) デジタル郵便事業における Oak キャピタルの収益予想（上記目標数値に基く）

取 扱 高	1 億通	3 億通	10 億通～20 億通
事 業 収 益	6 億円	18 億円	60 億円～120 億円

以 上